

会長新年あいさつ

土田 義也



青葉町にお住まいの皆様 新年明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、心新たに祈願されたことと存じます。

新型コロナウイルスによる感染が日本に上陸したのは令和2年の1月ですから、コロナとの戦いは3年目に入るわけで、このままだと第二次世界対戦よりも長期に渡っての戦いになりそうです。日本での死者数は他国に比較すると少ないですが、アメリカではついに第二次世界大戦における死者数の約2倍となりました。正に世界大戦そのものです。

日本での感染者数が激減した理由ははっきりとは分かりませんが、マスクの常用、ワクチン接種が今では他国より進んでいること、コロナの実態も少し分かったことも起因しているといわれています。しかし、まだまだその実態が分かっていません。

一度終息したイギリスやフランスでもリバウンドして感染者数が大幅に増えている現状を鑑みると決して安心はできません。一日も早く元の生活に戻るためには、今までどおり感染対策に注意する必要があります。

一昨年に続き昨年の行事もほぼ中止になりました。今年こそは出来るだけ実現出来るように努力していきます。

また、旧青葉小学校の跡活用部会は、このコロナ禍で全く開かれないまま時間が止まった状態です。そんな矢先、昨年7月20日に開催した第5回跡活用部会で青葉町の将来像（地域コミュニティ施設の複合化）が示されたことはご承知のことと思いますが、突然のことでその計画が皆様のコンセンサス（同意）を得られるかは疑問です。

今後、議論を続けながら、我々地域の要望を探り、接点を見極め解決すべき年と考えています。どうぞ引き続き皆様のご協力をお願いします。



各会長から地域の皆さんへ

わかば町内会

平成 29 年 10 月 28 日、町内会結成 50 周年記念を行いました。1丁目、2丁目、4丁目の個人住宅に住む人たちが構成されています。450 戸約 1000 人の住人が住んでおります。班は 30 班、8 部で構成され、老人クラブや子ども会も活発に活動しております。毎月の班長会や役員会は青葉会館で行われ、行事や連絡事項の確認を行っております。

会長 城 哲也

青葉会

この度、当会の会長を任されました。青葉会は、老人クラブも解散して高齢者は毎日の過ごし方に苦慮しています。一つ活動しているのが“青葉こぶし会”と名付けたカラオケサークルです。“会員が楽しく過ごせる団地に”が目標です。

会長 長谷川 美代子

青葉町 B 団地自治会友和会

友和会は、昭和 46 年 4 月に 286 世帯の会員で発足し、平成 15 年 16 年を建て替えのため一時休止、平成 17 年から 308 世帯数で再活動をし、50 年になります。発足当時は 20 代 30 代の会員が多数を占め、幼稚園、小学校、中学校も多くの子どもたちが毎日元気な声を響かせていました。

近年は、70 歳以上が 245 名と熟年世帯が多くを占め、自治会活動に支障が出ています。他者との交流を避けるのではなく、今を終の棲家として選択し、程よい距離を保った近所づきあいでの孤独死を防止したいと考えて自治会活動をしています。

会長 物井 榮美子

四つ葉自治会

四つ葉自治会が誕生して、令和 4 年 2 月で 54 年となります。高齢化が一段と進む中、災害時の避難場所の確保等たくさんの問題が山積していますが、自治連・区・市と連携し、安全・安心な四つ葉自治会を目指します。

会長 辻本 英樹

青葉 13 町内会

青葉 13 町内会は、JR 千歳線と自然豊かな青葉緑地に挟まれた地区にあり、戸建て主体の約 320 世帯の会員を抱え、今年度創立 25 周年を迎えました。

1980 年代と 2010 年前後の 2 期に分かれた開発、代替わりや新規入居などにより年齢バランスが比較的とれており、若い世帯も増えている町内会です。

会長 諏訪田 正美

青葉町 E・F 団地あさがお会

あさがお会の住民の高齢化に伴い、現在役員を 10 年以上担っている方がおります。

新役員の選出について各棟毎にお願いしておりますが中々決まりません。役員の仕事量を減らし、最低人員で構成する以外ないと思います。

会長 工藤 初義

青葉町紅葉会

青葉町紅葉会は、新年度より役員構成や仕事内容等の見直しを行ない、町内会運営を現状に即した内容とし役員不足の解消と活性化を図り、未来に向かってより明るく住みやすい町内会を目指していく所存です。

これまで、町内会の発展に尽くしてこられた役員並びに住民皆様へ感謝し、これからも一層のご協力をお願い申し上げます。

会長 中井 繁

白樺会

白樺会は、12 月中旬から約 1 ヶ月間、明るいトゥインクル（光キラキラ）な町づくりを推進中。イルミネーション点灯でファンタジックな世界と防犯効果を期待した試みです。

新規設置に町内会として補助をして、町ぐるみで輝きアップを図ります。

会長 山本 正幸



社会福祉法人 溪仁会 青葉ハーティケアセンター

日常生活に不便を感じ始めたら「介護サービスはまだ早い」と考えるのではなく、お気軽にご相談ください。

- あおばデイサービスセンター ☎ 893-5000
- 小規模多機能型居宅介護あおば ☎ 893-5555
- 訪問看護ステーションあおば ☎ 893-5500
- 居宅介護支援事業所あおば ☎ 893-8761
- 児童デイサービスぱぷりか ☎ 893-5006

〒004-0021 札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号（青葉まちづくりセンター向い）



青葉 キラツとこの人

～人物紹介⑫～

今回は、青葉町7丁目で、ご夫妻で赤帽運送業を営みながら、長らく町内の見守りやマス花壇のお世話等に労をいとわない“小林澄夫さん”をご紹介します。

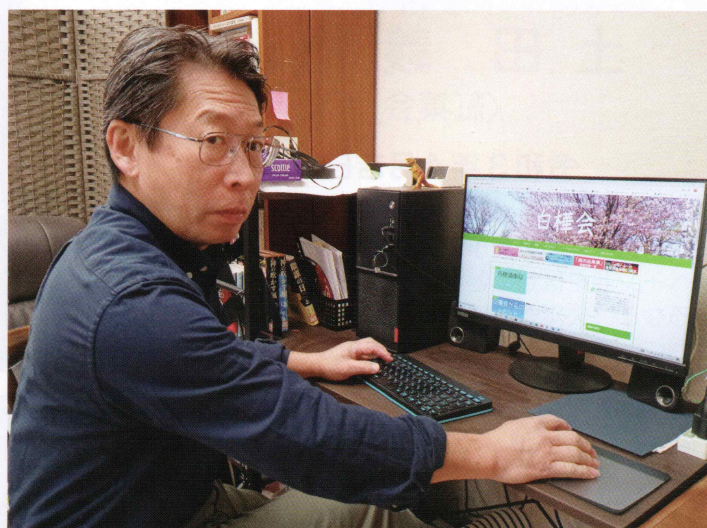
町内で名前を知らない人が無い程のハタラキマン。

数年前まで白樺会の副会長を務め、白樺会ホームページの立ち上げから関わっており、現在は運営アドバイザーとして尽力頂いています。

人と人との繋がりやの輪を築くことの大切さを学生時代に確信したそうです。ちなみにご夫婦の出会いもこのときのこと。

お祭りやイベントを通して町内の輪を大きく広げること、更にサラリーマン時代のIT関係技術者のスキルを活かして町内情報・コミュニケーションの多様化を図ること、これらを通して町内会の既存の形にとらわれる事なく、とにかくやってみよう！のチャレンジ精神で町内会活動を支え、盛り上げたいとのこと。

小林 澄夫さん (白樺会)



家業の運送業は引越しが主。近年は特にご高齢の方の施設等への引越しの比率が増え、その為の様々な資格も取得されています。

忙しい毎日ですが、ご夫妻ともども仕事に地域活動に元気いっぱいです。

介護家族の力になります

ご本人が納得して、ご利用できるようにお手伝いします。

かりん もり
デイサービス **花梨の森**

☎ 011-893-8960



功労者表彰のご報告 ～より一層のご活躍を～

令和3年中に青葉地区で、各分野における功績について表彰を受けた方をご紹介します。
受賞者の皆様、おめでとうございます！

札幌市防火委員会連合会表彰

つちだ よしや
土田 義也 様
(紅葉会)

令和3年4月吉日 表彰

平成28年に札幌厚別区防火委員会の副会長に就任し、春・秋の火災予防運動に伴う「街頭防火キャンペーン」をはじめとした各種行事に積極的に参加するなど、火災予防活動の実践に真摯に取り組むとともに、会長を務める青葉町自治連合会では、市営住宅をはじめ、地域住民による自衛消防訓練がさかんに実施されております。



住民運動実践功労者石狩振興局長表彰

ものい えみこ
物井 榮美子 様
(友和会)

令和3年11月10日 表彰

住民運動の実践者として永年にわたり町内会活動に尽力されるとともに、その他各種団体の要職に就き、住民活動の振興・環境美化活動・社会福祉の充実・地域防犯活動などに貢献されております。



編集後記

広報部長 中井 繁

新型コロナウイルス発生禍の中、『新さっぽろ』が「本当に住みやすい街大賞2021in北海道」の第1位に選ばれました。

住人としては、あまり実感がわからないのですが、医・食・商などの施設が身近にあり、交通の便も良く、事故や犯罪も他の区より少ないのが要因なのかと思います。しかし、その「住みやすい街」で町内会の仕事をしていると、住民の高齢化や活動の担い手不足等、様々な問題が山積している様に思います。

そのような状況ではありますが、今年も“青葉町連だより”を発行する事が出来ました。

お忙しい中寄稿頂いた方々、広告協賛企業の方々、誠にありがとうございました。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、活動の自粛を余儀なくされていた2年間を取り戻すべく、良い年でありますように心より願っております。

※ 折り込んである「避難行動判定フロー(札幌市作成)」と「避難情報のポイント(内閣府作成)」は切り取り線で切り離してお使いください。